

2020 年度第 10 回理学系研究科・理学部環境安全管理室会議 議事要旨

日時:2021 年 3 月 5 日(金) 13 時 00 分～14 時 40 分

場所:オンライン

出席者:大越、吉田、井上、廣瀬、種子田、鳥居、酒井、八幡、比屋根、小林、半澤、櫻井、眞田、幸路、小高、難波、今村、赤崎、奥山、荒井(管理業務担当)

議題

I. 第 9 回理学系研究科・理学部環境安全管理室会議議事要旨(案) 確認 <別紙 1>

前回の部局室会議の議事要旨について確認が行われ、承認された。

II. 2020 年度第 11 回環境安全管理室等会議報告(2 月 15 日オンライン開催)

1. 事故・災害報告について

<別紙 2・3>

吉田副室長より報告が行われた。

第 11 回室等会議で報告があった事故・災害は 15 件(休業 4 日以上 0 件、理学系の事例 0 件)。うち次の事故について紹介し、注意喚起がなされた。

20165Nf: 定温恒温器中で昇温中の木材が燻り発煙した。

定温恒温器でスギ角材 14 本を乾燥中、火災報知器が発報し煙が室内に充満した。排煙し恒温器の電源を落としたが、機器のドアを開けての初期消火は困難と判断し通報、消防隊員により鎮火した。状態を確認せず現場を離れたこと、詰め込みすぎであったことが原因とされたが、消防による機器調査の結果、器内のファンが故障していたことが判明した。

20167Nd: 動物飼育施設の自動給水装置から漏水し、床の一部が浸水した。

水道管と、動物飼育設備の給水管をつなぐ減圧装置の弁が損傷し、設備内の給水用チューブ先端から漏水した。年末年始で発見が遅れ、廊下へ浸水した。対策として、装置の確認を徹底すること、夜間・休暇中の対応のため、漏水センサーを設置することが挙げられた。

20168NI: 接合部分の劣化によるアンモニアガスの漏洩

ICP-MS にアンモニアガスを導入する際、レギュレータとチューブの接続部分が劣化しておりガスが漏洩し、ガス検知器が発報した。産業医より、アンモニア対応の防毒マスクの準備および、シリンダーキャビネットでの取り扱いが望ましいことが述べられた。

以下2～7について環境安全管理室 井上主任より報告が行われた。

2. 安全衛生管理業務月報について

<資料 3>

1 月分のうち、当部局で実施されたものは以下の通り。

- ・安全衛生教育実施状況:放射線取扱者講習会 1 回
- ・作業環境管理実施状況:放射線測定 線量当量率 71 回、放射性物質濃度 17 回
- ・職場巡視実施状況:1/7(化学東館)

他部局での指摘事項のうち「暖房器具をトイレに設置しているが、電源を取るためのコードが入り口に剥き出しで這っており、踏みつけによる破損が進み火事の原因になる恐れがある」ことが紹介され、電気コードについて年度末の片付けの際に確認をするよう依頼があった。

3. 各地区安全衛生委員会議事要旨について

<資料 4>

他事業場安全衛生委員会の議事要旨について、参考まで。

4. 化学物質管理(UTCIMS)のための On-Campus Job の募集について <資料 5>
UTCIMS のマスタデータを作成・入力する作業を、UTCIMS を使う学生を対象に募集しているもので、2月15日の段階で、製品マスタ19名、物質マスタ43名の申込があった。(うち理学系・理学部からは、製品マスタ6名、物質マスタ10名の申込。)引き続き受け付けているので、申込があったら、当室まで連絡してほしい。
5. プロジェクターの水銀ランプ使用状況に関するアンケート調査について <資料 6>
環境省から依頼を受けた調査であり、各専攻等事務室を経て、とりまとめて本部へ回答した。理学系内では、127個のプロジェクターのうち107個が水銀ランプを使用しているとの回答であった。
6. 防災安全対策の徹底と火災発生時の速やかな対応について <資料 7>
定温恒温器の事故に対し、本郷消防署より注意喚起のお知らせがあったことを受けて2月15日付で依頼が出された。恒温乾燥器・乾熱滅菌器に関しては注意喚起を2月5日に当室より部局内に送付済みである。理学系での事故を受け、部局内で再度通知することとなった。
7. 医薬品医療機器等法指定薬物の追加について <資料 8>
指定薬物が追加になった通知であり、理学系内での保有は確認されなかった。
8. 放射線取扱者登録管理システム(UTRadMS)の使用開始について <資料 9>
3月5日より使用開始となるが、鳥居室員より、健康診断や講習会について個人がシステムで登録する点がこれまでと大きく異なること、何かあったらまずはウェブを参照してから、放射線管理室に問い合わせるよう、補足説明があった。
9. 令和3年度産業医選任一覧及び産業医職場巡視予定について <資料 10>
事業場ごとの産業医の一覧と、産業医巡視の予定であり、理学系の産業医巡視は山本先生と安田先生となっている。しかし、3月頭に山本先生の異動が決定し、安田先生のみでの実施となる。
10. 本郷消防署からのお知らせ(火災調査・危険物編)について <資料 11>
消防署から、本学の施設関係連絡会議にて、情報提供があった。理学系内でも共有することとなった。
11. その他
- ・UTCIMS について引き続き機能の改善を行っていくこと。
 - ・2月13日に発生した福島県沖地震での安否確認サービスについて、全学において震度5以上の地域に在住・在勤する3,800名ほどに送信され、2,869名から回答があったことが、報告された。

III. 学部内報告および審議事項

1. 事故・災害報告について <別紙 4>
前会議以降、当部局で発生しⅡに未記載の事故について吉田副室長より報告がなされた。

20183Nf:【化学専攻】実験終了後、光照射装置を消し忘れ、有機溶媒と周囲の段ボールが発火した。

修士課程の学生が午前0時頃、卓上フード内の装置で反応終了後、冷却水循環装置および光照射装置の両方を停止すべきところ、光照射装置のスイッチを消し忘れたことにより出火し、

粉末消火器で消火した。二つの装置の電源を一つにまとめ、遮光のためのダンボールは燃えにくい材質に変更を検討することが再発防止策として挙げられた。

深夜に学生がひとりで実験していたこと、研究室スタッフへの報告が翌朝となったこと、研究室スタッフから当室への報告が午後となり、消防への通報がさらに遅れたことが問題となり、理事から説明と対策を求められ、環境安全本部長から研究科長宛てに「防火安全対策の徹底について」文書にて依頼を求められる事態となった。

部局内にて、次の対策を実施し、再発防止に努めることとした。

- ①注意喚起を改めて行う
- ②安全衛生教育用のパワーポイントで事事故例を掲載し周知する
- ③安全マニュアルと防災行動マニュアルに、消火後も通報が必要である旨を追記する
- ④年2回の防災訓練（消火訓練・避難訓練）時に周知する
- ⑤緊急連絡先ポスターにシールで追記する（巡視時に貼る）

20157Nd:【生物科学専攻】水槽の、使用していないサーモスタット付きヒーターのスイッチが入り、異常発熱で周辺機器のプラスチック部分を溶解した。〈報告済み・その後の対応〉

2号館のドライエリアの事故について、消防署に連絡し2月8日に現場検証を行った。火災ではなく、「投げ込みヒーターの異常加熱に伴う樹脂製品の溶融」と判定したが、消防署からは火災かどうか判断に迷った場合は即時通報することを要請された。今後、ドライエリアにある小部屋(21か所)に、自動火災報知設備(熱感知器)を設置し、未計画通知に該当する建屋については、計画的に取り壊すこととなった。

・消防署への速やかな通報および学生の夜間休日の実験に係る注意喚起 <別紙5>

上記2件の事故を受け、部局内で注意喚起を行うにあたり、井上主任より内容が説明され、承認された。通報するか迷う場合については、防災センターに連絡すること、防災センターでも判断に迷う場合、当室に連絡することとし、防災センターと連携することが確認された。大越室長より、本内容について、3月5日の教授会でも依頼することが報告された。

2. 産業医巡視について

吉田副室長より、前回会議以降、当部局で実施された産業医巡視(2/18(木)4号館・7号館、2/24(水)小石川植物園)において、新たに指摘された点についてスライドにて報告が行われた。

3. 2021年度産業医巡視日程(案)について

<別紙6>

吉田副室長より、来年度の産業医巡視日程と、研究科長パトロールを1号館西棟・中央棟4階を対象に行うことが、説明された。

4. 野外における教育研究活動安全衛生管理計画書一覧(1・2月提出分)

<別紙7>

1、2月に提出された「安全衛生管理計画」(野外活動計画)について井上主任より報告された。

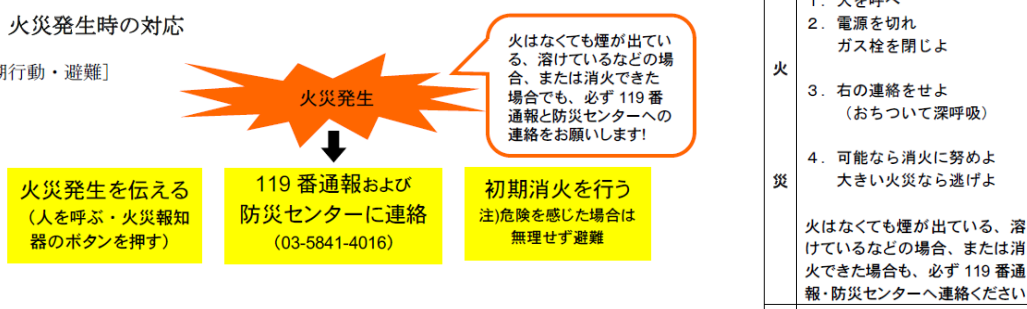
5. 2021年度安全衛生教育について

<別紙8>

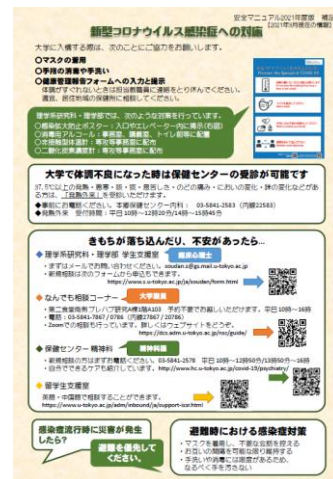
井上主任より、議題1で述べた対策のひとつとして、安全マニュアルの、火災発生時の対応と裏表紙の緊急連絡先に、下図のように追記することが提案され、了承された。

4.2 火災発生時の対応

[初期行動・避難]



新型コロナウイルスへの対応についても、特に必要な情報をまとめた補足資料(右図)を作成し、内容の確認が行われ、マニュアルと合わせて配布予定であることが説明された。



6. 2021 年度防災訓練(消火訓練・避難訓練)日程について

吉田副室長より、2021 年度の防災訓練の日程が以下のとおりであること及び概要の説明がなされた。

消火訓練:5 月 19 日(水)13:30~14:00

避難訓練:10 月 15 日(金)12:00~12:30

7. 福島県沖で発生した震度 6 強の地震に伴う安否確認受診結果について

吉田副室長より、理学系においては、281 名のうち、244 名から回答があり、87%の回答率であったことが報告された。

室員より、今後この結果をどのように活かすのか質問があり、専攻に情報共有し、未回答の者に対して別途確認をお願いする流れを予定していること、専攻への情報共有の仕方については本部と調整を要する課題であることが説明された。

8. 2021 年度理学系研究科・理学部環境安全管理室構成員について

<別紙 9>

各専攻・施設長宛てに来年度の室員をご推薦いただく旨、吉田副室長より案内があった。

9. その他

○大型車両の三角広場進入について

理学部1号館南側の三角広場の、東棟の地下室の直上部分の重量制限について、担当である管理業務担当の荒井係長より、東棟建物が一平米あたり 800 キロの制限があること、補正率をかけて算出しているのを超えてもいきなり壊れるわけではないが、長期的にその状態だと問題が生じることが説明され、室員より、図書チームへ確認するよう依頼があった。

また、大型車両進入届で対応しているが、未届けで来てしまう者に対し、安田講堂側の入り口でも良いので何らかの掲示をしてほしいと、引き続き要望があり、掲示をしている本部環境課に提案することとなった。重量制限について、今後、部局内でも周知することが了解された。

次回(2020 年度第 11 回)環境安全管理室会議は、議事メモの共有とする。

※ 全学環境安全管理室等会議は、2021 年 3 月 15 日(月)